

# すこやか



## 年頭のご挨拶

2023年の年頭にあたり、新年のお慶を申し上げます。本年が、皆様にとりまして、より善き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が始まって、そろそろ3年となります。思い起こせば2020年1月から2月にかけての大型クルーズ船での集団感染が、我々日本人にとって新型コロナウイルス感染症を身近に感じた初めだったのではないのでしょうか。感染確定は712人で少なくとも14人が亡くなられたようです。その後は、ご存知の通り夏と冬に感染ピークを繰り返しており、その都度、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、医療非常事態宣言などなど、その時々状況に合わせて様々な施策が行われてきました。

2021年7月から9月にかけて、緊急事態宣言の最中、1年遅れで東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。折角の新国立競技場もほぼ無観客の状態で開催、各種競技が行われました。多くの制約の中での開催ではありましたが、一つの道標であったかもしれません。

2022年1月には、北京冬季オリンピック・パラリンピックが、一部ではありますが観客を入れて、あのゼロコロナ政策の渦中の中国で行われました。その中国のゼロコロナ政策も今や終了しています。11月からは、カタールでサッカーワールドカップが開催されて、世界規模の巨大イベントも一見あたかも普通に行われるようになってきました。

日本では、現在、第8波を迎えています。もはや緊急事態宣言などの強力な行動制限は行われる心配はありません。国の方でも、感染症法上の2類から5類への引き下げも本格的に検討され始めています。世の中では、会食や旅行などの機会も増えているようです。いずれも、通常の生活に戻りたいという人々の気持ちの表れで、自然の流れだと思えます。

しかしながら、医療機関には、重症化しやすい患者さんも多く、感染拡大は可能な限り避ける必要があります。また、職員が感染や濃厚接触で出勤できなくなってしまえば、新型コロナの診療のみならず通常の医療や救急医療を維持継続することができなくなってしまいます。このような事情がありますので、世間でのコロナ対応の緩和の動きと比較すると厳しくみえますが、病院では、今しばらく感染対策は継続していく必要があります。入り口での検温、面会制限やマスクの着用、入院時のPCR検査など、ご不自由をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。当院に関わってくださる全ての方々協力して、地域の医療を守っていく所存です。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

2023年1月

病院長 景山 雄介

## 女性泌尿器科とは？

泌尿器科というと、主に男性のための診療科であるように感じている方が多いかもしれません。実は泌尿器科の中には、“女性泌尿器科”という専門分野がきちんとあります。しかし日本では、女性泌尿器科のみを専門とする医師はまだ数少ないのが実情です。人間半分は女性です。女性でも、いわゆる“おしもの不具合”を抱えている方はたくさんいらっしゃいます。子宮や膀胱などが腔から脱出する骨盤臓器脱や尿漏れといった不具合は、放っておいても死に至るような病気ではありませんが、その女性の生活の質は著しく低下してしまいます。何か活動をしたと思って、おしもの不具合があるために引っ込み思案になり、行動制限をしてしまうことで生活の質の低下につながるのです。女性泌尿器科とは、まさしくこのような生活の質を低下させてしまう女性の泌尿生殖器周りの障害を扱う診療科です。

## どんな疾患を扱うのか？

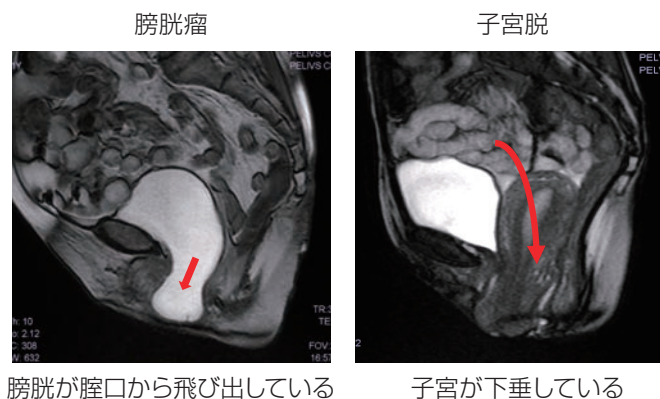
骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤、小腸瘤など）、尿失禁、過活動膀胱、低活動膀胱、間質性膀胱炎、腔瘻（膀胱腔瘻、尿道腔瘻など）、尿道憩室、尿失禁術後合併症（尿排出障害やメッシュ露出など）などが女性泌尿器科の主な対象疾患です。

## 代表的疾患の概説

## 骨盤臓器脱

女性は骨盤底に産道という穴が開いています。この穴を塞いでいるのが骨盤底筋ですが、この筋肉はいろいろな原因（多くは出産）で弱くなります。すると骨盤内の臓器を支えにくくなり、穴（＝腔）から飛び出します。これが骨盤臓器脱です。治療は保存的治療と手術療法に大別されますが、その女性の生活スタイルにあった適切な治療法を選択することが重要です。（図1）

図1. 骨盤臓器脱の MRI 画像



## 尿失禁

一般に①腹圧性尿失禁、②切迫性尿失禁、③①、②が共存する混合性尿失禁の3つが代表的ですが、これらをきちんと診断することがとても大切です。それぞれのタイプによって治療法が異なるからです。（図2）

図2. 腹圧性尿失禁



腹部に力が加わる動作で尿が漏れる

**過活動膀胱**

待ったなしの強い尿意（尿意切迫感）を感じる、頻尿、トイレに間に合わなくて漏れてしまうなどの症状がみられるのが過活動膀胱です。多くの方がお薬で改善しますが、難治性の方にはボトックス膀胱壁内注入療法や仙骨神経電気刺激などの治療法もあります。（図3）

図3. 過活動膀胱



**尿意切迫感**  
急に起こる抑え切れない  
ほどの強い尿意

**切迫性尿失禁**  
トイレまで間に合わず  
漏らしてしまう

**頻尿**  
昼間・夜間に回数が  
多いと感じる

**間質性膀胱炎**

細菌によって起こる急性膀胱炎とは全く別物の膀胱炎です。以前はまれな疾患と思われていましたが、近年非常に患者さんが多いことが分かっています。典型的な症状は尿が溜まってきたときの膀胱の痛みと頻尿です。潰瘍型と非潰瘍型の2つのタイプがあり、それぞれに応じた治療が必要です。（図4）

図4. 間質性膀胱炎



多くの場合尿が溜まってくると痛む

**腔 瘻**

まれな疾患ですが、持続性尿失禁となるため患者さんを精神的にとっても苦しめる疾患です。骨盤内の手術後などに膀胱と腔に間に穴が開いてしまう膀胱腔瘻が最も頻度が高く、多くの場合腔からの手術で閉鎖することが可能です。

**尿道憩室**

繰り返す尿路感染症や性交時痛、尿失禁、外尿道口からの膿、腔内違和感など様々な症状を呈します。医療者が疑わないと見逃されやすい疾患です。症状が強い場合は手術が必要で、劇的に症状の改善が見られます。

**おわりに**

女性泌尿器科について簡単に述べさせていただきました。“おしもの不具合”はなかなか相談しにくいものです。しかしほとんどの場合、適切な診断・治療により症状の改善が得られます。お困りの方はぜひご相談ください。

# 外来診療のご案内

令和5年1月 現在

午前の診療	診療受付時間 8:30～11:00 形成・美容外科の受付時間 火・木・土曜日 8:30～11:00
午後の診療	スポーツ医学センターの受付時間 火・水・金曜日 14:30～16:00 形成・美容外科の受付時間 月・木曜日 13:30～16:00 泌尿器科の受付時間 木曜日 13:00～15:30 女性泌尿器科の受付時間 月曜日 13:00～15:30
不妊治療センター	月～金曜日 8:30～16:00 土曜日 8:30～11:00
予約について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再診の方は、予約制を行っています。予約方法などは、予約票をお読みください。</li> <li>●初診の方は、予約ができません(紹介状をお持ちの方、歯科、不妊治療センター、形成・美容外科、皮膚科を除く)。</li> <li>●なお、整形外科(手・脊椎・腰痛・肩・肘・脊椎内視鏡センター・リウマチ・股関節外来)、乳腺外来、内科(血液内科・禁煙外来)、脳神経外科(脳神経血管内治療科)、小児科(乳幼児健診)、ペースメーカー外来、眼科、その他一部は、完全予約制です( )は全て完全予約制となっております。</li> <li>●上記以外でも紹介状のある方は、予約が出来ます。詳しくは地域医療連携室へお問い合わせください。(043-261-8199)</li> <li>※ペースメーカー外来は基本第2週目となりますが、休日等により変動致しますので詳しくはお問い合わせください。</li> </ul>

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	新患・初診	午前	●	●	●	●	●	
	再診	内分泌代謝	午前	再診のみ		再診のみ	再診のみ	
			午後	再診のみ	再診のみ		再診のみ	
		リウマチ・膠原病	午前		再診のみ	再診のみ	再診のみ	再診のみ
			午後			再診のみ		
		呼吸器内科	午前		再診のみ	再診のみ	再診のみ	
			午後	●				
		予約外来	午前	再診のみ	再診のみ	再診のみ		再診のみ
		血液内科	午前		●		●	
		午後	●			●		
	午前				●			
	腎臓内科	午前					第1のみ (完全予約制)	
	午後		第2・4 (完全予約制)					
神経内科		午前	予約制	予約制	予約制	●	予約制	
心臓血管センター	循環器内科	一般外来	午前	●	●	●	●	
	ペースメーカー外来※	午前	●		●	●		
消化器センター	心臓血管外科	午前	●	●	●	●	術前外来	
	消化器内科	午前	●	●	●	●	●	
外科	消化器外科	午前	●	●	●	●	●	
	一般外来	午前	●	●	●	●	●	
整形外科	乳腺外来	午前		●				
		午後				●		
	一般外来	午前	●	●	●	●	●	
	スポーツ医学センター	午後		●	●	●		
	肩・肘外来	午後		●	●	●		
	脊椎・腰痛外来	午後		●	●	●		
	手外来	午後		●	●	●		
脊椎内視鏡センター	午後		●	●	●			
	リウマチ・股関節外来	午後			●			
形成・美容外科		午前		予約制 (再診のみ)		予約制 (初診のみ)	1-3週 予約制(再診のみ) 2-4週 予約制(初診のみ) 5週 休診	
	午後	予約制 (初診のみ)				予約制 (再診のみ)		
脳神経外科	一般外来	午前	●	●	●	●	●	
		午後				●		
産婦人科	婦人科	新患・予約外	午前	●	●	●	●	
		予約外来	午前	●	●	●	●	
	産科	新患・予約外	午前	●	●	●	●	
		予約外来	午前	●	●	●	●	
	不妊治療センター		午前	●	●	●	●	
			午後	予約外 16時迄	予約外 16時迄	予約外 16時迄	予約外 16時迄	予約外 16時迄
小児科	一般外来	午前	●	●	●	●		
	予約外来	午後	●	●	●	●		
眼科		午前	●	●	●	●	●	
耳鼻いんこう科		午前	●		●	●		
皮膚科		午前	予約制 9時30分～	予約制	予約制 9時30分～	予約制 9時30分～	予約制 9時30分～	
泌尿器科	一般泌尿器科	午前	●	●	●	●	●	
		午後			●	●		
	女性泌尿器科	午後	●					
歯科口腔外科・歯科・口腔ケアセンター		午前	紹介予約制	紹介予約制	紹介予約制	紹介予約制	紹介予約制	

(注) 1. 担当医や休診・代診に関する情報は、当院ホームページにてご確認ください。 2. 最新の情報は、ホームページまたは直接お問い合わせください。

医療法人社団 誠馨会

千葉メディカルセンター

〒260-0842 千葉市中央区南町一丁目7番1号 TEL 043(261)5111(代表)  
URL <http://www.seikeikai-cmc.jp> 編集責任者: 瀧澤史佳